

# 教えて！ ももっち博士

ACPってなあに？

突然じゃが、質問じゃ。  
皆さんは、“もしも”の時に  
どんな医療を受けたいか、  
話し合ったことはあるかな？

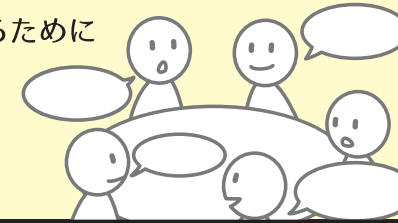


え〜、そんなこと  
考えたこともないよ。



## エーシーピー ACP (アドバンス・ケア・プランニング) とは…

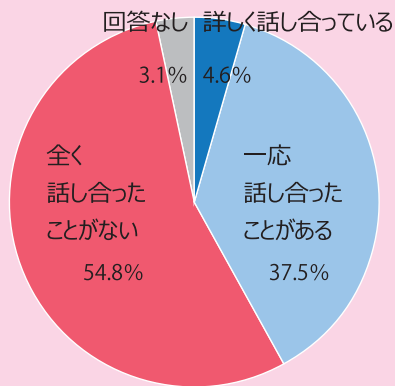
病気になった人の、将来の変化に備えるために  
これから先の医療やケアの進め方を  
本人や家族、医療・介護関係者が  
繰り返し話し合っ、共有すること



繰り返し話し合うのは、どうして？



質問：  
あなたは、自分自身の  
死が近い場合に受けた  
い医療や受けたくない  
医療について、家族と  
話し合ったことがありますか？  
(平成29年度県民満足度調査)

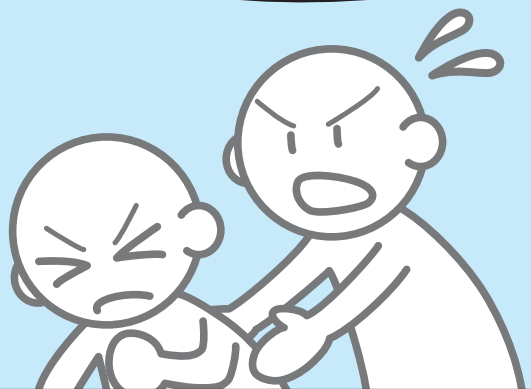


県民調査の結果でも、  
話し合ったことがない  
という人が多いんじゃ。

ほんとだ…  
でも、それが何か？

実は、「死」に直面して命の危険が  
迫った状態になると、約7割の人は  
自分の意思を表示できなくなる  
とされているんじゃ。

じゃあ、“もしも”の時に  
お医者さんに自分の考えを  
伝えられない可能性があるのね。



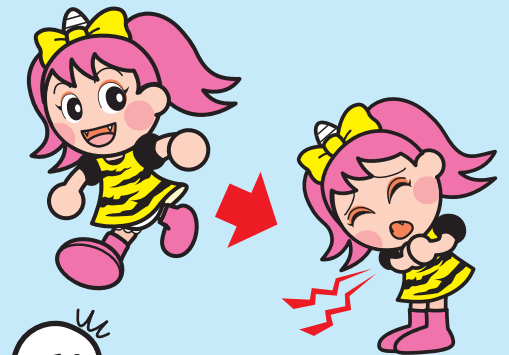
何が最善の選択かは、その時々で違うからじゃ。  
例えば、歳を取ってもうすぐ寿命が尽きそう、  
という状態になったとしよう。

その時、病院に行って、可能な限り  
命を延ばしてほしいと思うかな？



うーん、どのみち寿命が近いのなら、  
機械に繋がれたり、苦しい思いをしてまで  
命を延ばしたいとは思わないなあ。

では、もし明日、急に心臓が危ない状態に  
なったら？その時も、無理に助けなくていい？



ええっ  
明日は困るかも  
どんなに苦しい治療でも我慢するから  
何としてでも助けてほしいなあ。

どんな医療やケア  
が最善か…。  
それは病気の状態、  
本人の価値観、  
そのときの周囲の  
環境などによって、  
度々変わるんじゃ。  
だから、事あるごとに  
繰り返し話し合う  
ことが大切なんじゃ。



なるほどね。  
でも、いきなりお医者さんと  
病気や死について話し合うのは、  
何だか難しそう…



それなら、  
まず身近な人と「これからの  
人生でやりたいこと」を  
話し合ってみてはどうかかな？



### これからの人生で やりたいこと

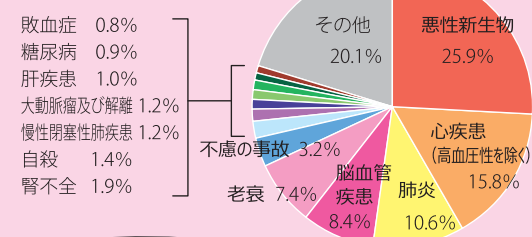
例えば…

- ・夫婦水入らずでゆっくり旅行がしたい。
- ・孫と一緒におかやまマラソンに出たい。
- ・最近始めたフラダンスで発表会に出る。
- ・昔の仲間たちと、同窓会を開きたい。

でも、自分が  
どうしたいかなんて、  
その時にならなきゃ  
決められないと思うけど。



### 岡山県民の死亡原因 (厚労省「平成28年人口動態統計」)



確かに“もしも”の事態を  
一つ一つ考えて、どうしたいかを  
決めておくことは難しいな。



じゃあ、  
どうすれば  
いいのよ…



この問題を解決する方法として、  
いま、医療・介護関係者が  
注目していることがあるんじゃ。

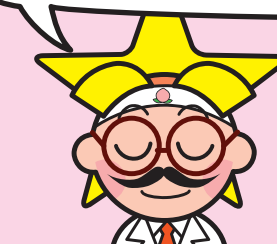


それは

エーシーピー  
**ACP**



**自分が死に向かって行く時の医療やケアについて考えることは、  
残された人生をどう生きていきたいのか、を考えるということ。**  
だから、「これからの人生でやりたい事」と繋がっている話なんじゃ。



なるほど！

さあ、あなたも  
これからのことを話し合ってみましょう！

